

2021年度Sセメスター工学系・工学部共通科目

新規
開設

「New Normal」の
世界での
リーダーシップとは

「国際連携演習 I-X」

▶学部3年・4年生

「国際連携特別演習 I-X」

▶大学院

2021年度Sセメスター Online説明会

2021年4月6日(火) 18:45~19:45



説明会はオンライン (Zoom) で行います。Zoom URLは、QRコードまたは下記URLからアクセスしてください (ログインには東大ECCSアカウントが必要です)。

<https://docs.google.com/spreadsheets/d/1g2D7VI8289Sp-CsvNIQIXRBak7iLBe9DaNbk2h8BfEA/edit?usp=sharing>

このリンクは国際教育部ホームページ: <https://global-eng.t.u-tokyo.ac.jp/index> にも掲載されています。

国際連携 (特別) 演習 I (E)

学部 FEN-CO3980S3 · 大学院 3799-401

▶GCIP担当者 innovation-for-well-being@googlegroups.com

S
セメスター

グローバル共創型イノベーションプログラム

吉田 壘・辻 悠佑

本授業では、学生が国際的に活躍できるようになるため、学生同士が国際的に共創して事業提案を行います。本授業のテーマは「Innovation for Well-being -GDPを超える世界を創り出す挑戦-」で、一人ひとりが心身・社会的に健康・幸せであるという「Well-Being」を実現できるような課題設定・事業提案をしてもらいます。授業を通して、これからの時代やビジネスに関する知識提供、学外の企業や省庁の方との対話型セッションなど多様な学習機会を設けます。

海外の学生も含めて実施予定で、基本的に英語を用いますが、議論自体は日本語でも可能な環境を用意する予定です。

学生の間は特に多く挑戦して多く失敗できる時期なので、是非本授業を国際的に活動する練習の場として利用してもらえればと思います。

国際連携 (特別) 演習 II (E)

学部 FEN-CO3981S3 · 大学院 3799-402

▶リチャードソン マシュー richardson@cce.t.u-tokyo.ac.jp

S
セメスター

国際衛星設計プロジェクト

中野 義昭・リチャードソン マシュー

ISDP (英: International Satellite Design Project) は英語で実践するチームプロジェクトの授業である。本プロジェクトでは、参加する学生が宇宙ミッションを概念設計しながら衛星設計や宇宙工学について学ぶことができる。さらに技術プロジェクトで英語を使う経験を得ることも可能。2021年度のSセメスターは全てオンラインで実施する。

国際連携 (特別) 演習 III (E)

学部 FEN-CO3982S3 · 大学院 3799-403

▶マルケス・マリニョ ムリロ murilo@nml.t.u-tokyo.ac.jp

A
セメスター

遠隔操作ロボット: 設計・製造・制御の基礎

光石 衛・マルケス・マリニョ ムリロ

近い将来、遠隔操作ロボット (危険物処理ロボットや手術ロボット等) は、社会の必要不可欠な一部になると期待されている。そのような社会においてリーダーシップを担えるようになるためには、遠隔操作ロボットの開発に関する基礎的な設計・製造・制御の知識が必要となるであろう。本演習では、学生は国際チームの一員となり、6自由度ロボットアームの組み立てから、ロボットの操作ができるインターフェースの設計・製造・制御までを行う。基本的な部品 (サーボモーター等) のキットは、学生に配布される予定である。国際的な知識を深めながら、ロボットに関する興味・関心の育成をも目指す。

※この2科目はAセメスターでも開講します。

国際連携 (特別) 演習 IX

学部 FEN-CO3988S2 · 大学院 3799-409

▶内堀朝子 uchibori@cce.t.u-tokyo.ac.jp

A
セメスター

国際理解とコミュニケーション

内堀 朝子

この授業では、海外の大学生とのオンライン交流を通じて、多様な背景を持つ相手との国際的な協働プロジェクトにおいて必要となるコミュニケーション能力の向上と、異文化理解の促進を目指す。交流先大学はMITおよびKTH (スウェーデン王立工科大学) で、MIT学生とは英語と日本語で、KTH学生とは英語で、各大学4回ずつのオンラインセッションでペア又はグループによるディスカッションを行い、最後にペア又はグループごとに発表する。時差のためセッションは授業時間外に各自が行い、授業ではセッション準備・振り返りの他、各自の経験をシェアしながら、より良い国際理解及びコミュニケーションへのアプローチを探る。

